

Technical-17th サイト構築-5

HTML オーサリング

テンプレートファイルの準備

チェック用アップロード方法の確認

各ルールの配布

テストサーバーでのテスト、バックエンド機能テスト

チーム内でのテスト

第三者によるチェック

テスト結果をフィードバック・修正

再テスト

クライアントチェック

HTML オーサリング

サイト内のすべてのデザインが決定し、クライアントの承認を得たら、残りのページのhtml化作業に入る。ほとんどの場合、この作業がもっともボリュームが多く、必然的に分担作業になる。ディレクターはきちんと整理した配分を行わないと、後になってよけいな修正が発生しかねない。そのようなことを防ぐために、以下の点に注意すること

テンプレートファイルの用意

前ステップまでで用意したテンプレートとなるhtmlデータを、各スタッフに渡す。その際、そのスタッフが編集してもよい部分と、編集を禁じる部分とをはっきり伝えること。

チーム全体が同じオーサリングソフトを使用して作業を行うことがわかっているならば (ex.DreamWeaver など)、このような設定を楽に行ってテンプレートファイルを作る機能を利用するとよい。

チェック用アップロード方法の確認

チェックのためのアップロードディレクトリ、通知の方法を決定しておくこと。

書面による各ルールの配布

前ステップまでで決定している各ファイル名の付け方に関するルールや、フォント設定のルール、外部スタイルシートなど、サイト内のhtmlファイルに共通する事項やルールは、すべてリストとして書面にして配布する。

またコンセプト決定の際に作成した仕様書も同時に配布すること。これによって、各作業スタッフが想定ユーザーや納期などといったプロジェクト全体の概要に対して共通認識を持つことができ、サイト全体の統一と目的に沿った作業を行うことができる。

テストサーバーでのテスト、バックエンド機能テスト

すべてのページの作成が終わったら、再度テストサーバーでのテストを行う。この際、バックエンド機能もテストサーバー内で設定を行い、動作確認をすること。

テストの方法は、ステップ9でのユーザビリティテストと同様。

チーム内でのテスト

第三者によるチェック

テスト結果をフィードバック・修正

再テスト

クライアントチェック